

永田クラブ
経済研究会
消費者問題研究会
厚生労働省記者クラブ
農林水産省記者クラブへ貼り出し

公開

平成24年8月27日
内閣府食品安全委員会事務局

食品安全委員会セミナー
「アルミニウムの健康影響と国際的な動向について」
の開催のお知らせと参加者募集について

食品安全委員会は、下記の要領で、食品安全委員会セミナー「アルミニウムの健康影響と国際的な動向について」を開催します。同時に参加者の募集を開始しますので、お知らせいたします。

記

アルミニウムは食品添加物やアルミニウム容器等に広く使用されており、国民の関心が高いものの一つです。この度、食品安全委員会では、海外から2名の専門家をお招きし、アルミニウムが人体に及ぼす健康影響、基準や規制等の海外動向を情報提供いただきます（同時通訳付き）。

なお、本セミナーにはどなたでも参加できますが、講演に専門的な内容が含まれていますので、食品衛生に関する基礎的な知識をお持ちの方を主な対象者と考えております。

1. 開催日時： 平成24年10月4日（木） 13：00 ～ 17：15
（12：30 受付開始）
2. 会場： 食品安全委員会 会議室
（東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22階）
3. 主催： 食品安全委員会
4. 募集人数： 約100名
5. 参加費： 無料
6. プログラム（予定） 別添1 参照

7. 参加者の募集（報道関係者は「8. 報道関係者の皆様へ」を御覧ください。）

食品安全委員会ホームページ（<http://www.fsc.go.jp>）において

8月27日（火）17：00から受付開始します。

参加を御希望の方は、別添2の参加申込書に下記項目を御記入の上、FAX又はインターネットでお申し込みください。

- ① 氏名（フリガナ）
- ② 参加証送付先FAX番号またはEメールアドレス
- ③ 電話番号
- ④ 勤務先

希望者が多い場合は、先着順で締め切らせていただく場合がありますので御了承ください。

申込締切： 平成24年9月26日（水） 17：00

申込先：

FAXでの御応募 03-3584-7392

インターネットでの御応募

[\(https://www.p-unique.co.jp/alumi20121004/\)](https://www.p-unique.co.jp/alumi20121004/)

- ・ 参加の可否は、「参加証」のFAX又は電子メール送信により、御連絡いたします。
- ・ 参加証は、本セミナー当日に、会場受付で御提示ください。
（なお、参加証をお忘れになった場合等は、身分を証明するもの（運転免許証、健康保険証、社員証など）を御提示いただきますので、御注意ください。）
- ・ 参加申込のさいにご記入いただく項目については、当方から必要に応じて御連絡させていただく場合があるほか、会場での参加確認や、どのような立場の方々が御参加されているのかの把握のために、お尋ねしております。
- ・ 本セミナーはマスコミにすべて公開いたします。発言者・参加者の写真又は映像等が配信・報道される可能性がありますことをあらかじめ御了承ください。

8. 報道関係者の皆様へ

- ・ 本セミナーは公開といたします（カメラ撮り可）。
- ・ 参加を希望される場合は、平成24年10月3日（水）17：00までに、「食品安全委員会セミナー参加希望」を明記し、下記項目を御記入の上、「7. 参加者の募集」に記載されている申込先まで御連絡ください。（様式は自由）
 1. 会社名
 2. 氏名
 3. TVカメラの有無
 4. 電話番号
 5. FAX番号
 6. 住所
 7. 参加人数

【本件に関する問い合わせ先】

食品安全委員会セミナー事務局

TEL 03-3545-3571（受付時間10：00～17：00 土日・祝日除く）

（業務管理委託先：株式会社プロセスユニーク 責任者：野々山）

食品安全委員会について（<http://www.fsc.go.jp/>）

食品安全委員会（委員長：熊谷進（くまがい・すすむ））は、食品中に含まれる農薬や食品添加物などが健康に及ぼす影響を、科学的に評価する機関（リスク評価機関）です。7名の委員で構成され、12の専門調査会において170名を超える専門委員の協力により、企画等、添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、器具・容器包装、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料の分野のリスク評価等を行っています。

プログラム

食品安全委員会セミナー 「アルミニウムの健康影響と国際的な動向について」

平成24年10月4日(木)

13:00-13:10	開会
	コーディネーター(講演から意見交換にかけて): 広瀬明彦 専門委員(食品安全委員会 化学物質・汚染物質専門調査会/ 器具・容器包装専門調査会)
13:10-15:10 (同時通訳)	食品中のアルミニウムが人体に及ぼす影響 (ジユド・ポアリエ博士: カナダ マギル大学) 食品中のアルミニウムに関する世界的動向(リスク評価・基準・規制等) (ダイアン・ベンフォード博士: 英国 食品基準庁)
15:10-15:25	休憩
15:25-16:25 (同時通訳)	ラットを用いたアルミニウム塩の2世代生殖試験 (江馬眞 専門委員: 食品安全委員会 添加物専門調査会) アルミニウムの精神・神経疾患、新生児発育に対する新たなリスク評価指標の 開発に向けた取り組み (入野康宏 博士: 神戸大学 医学研究科)
16:25-16:35	休憩
16:35-17:15 (同時通訳)	意見交換
17:15	閉会

<備考>

講演中の飲み物について

本セミナーは、講演をお聞きの際にも飲み物をお召し上がりいただけますので、ご遠慮なくご持参ください。食べ物類はご遠慮ください。(主催者による飲料等の提供は予定しておりません)

参加申込書

食品安全委員会セミナー
「アルミニウムの健康影響と国際的な動向について」
(平成24年10月4日(木)開催)

フリガナ ① 氏 名	② 参加証送付先FAX番号 およびEメールアドレス	③ TEL 番号 (市外局番から記入)	フリガナ ④ 勤務先 所属団体等
	FAX ----- Eメールアドレス		
	FAX ----- Eメールアドレス		
	FAX ----- Eメールアドレス		

該当する番号にひとつだけ○を付けてください。

- 1) 消費者団体(生活協同組合関係者など) 2) 主婦、学生、無職
3) 生産者(農林水産業など) 4) 食品関連事業者・団体(加工、流通、販売など)
5) マスコミ関係者 6) 行政(自治体職員、独立行政法人等職員など)
7) 食品関連研究・教育機関(教員、研究職員など)
8) その他(具体的に御記入ください：)

申込締切： 平成24年9月26日(水) 17:00

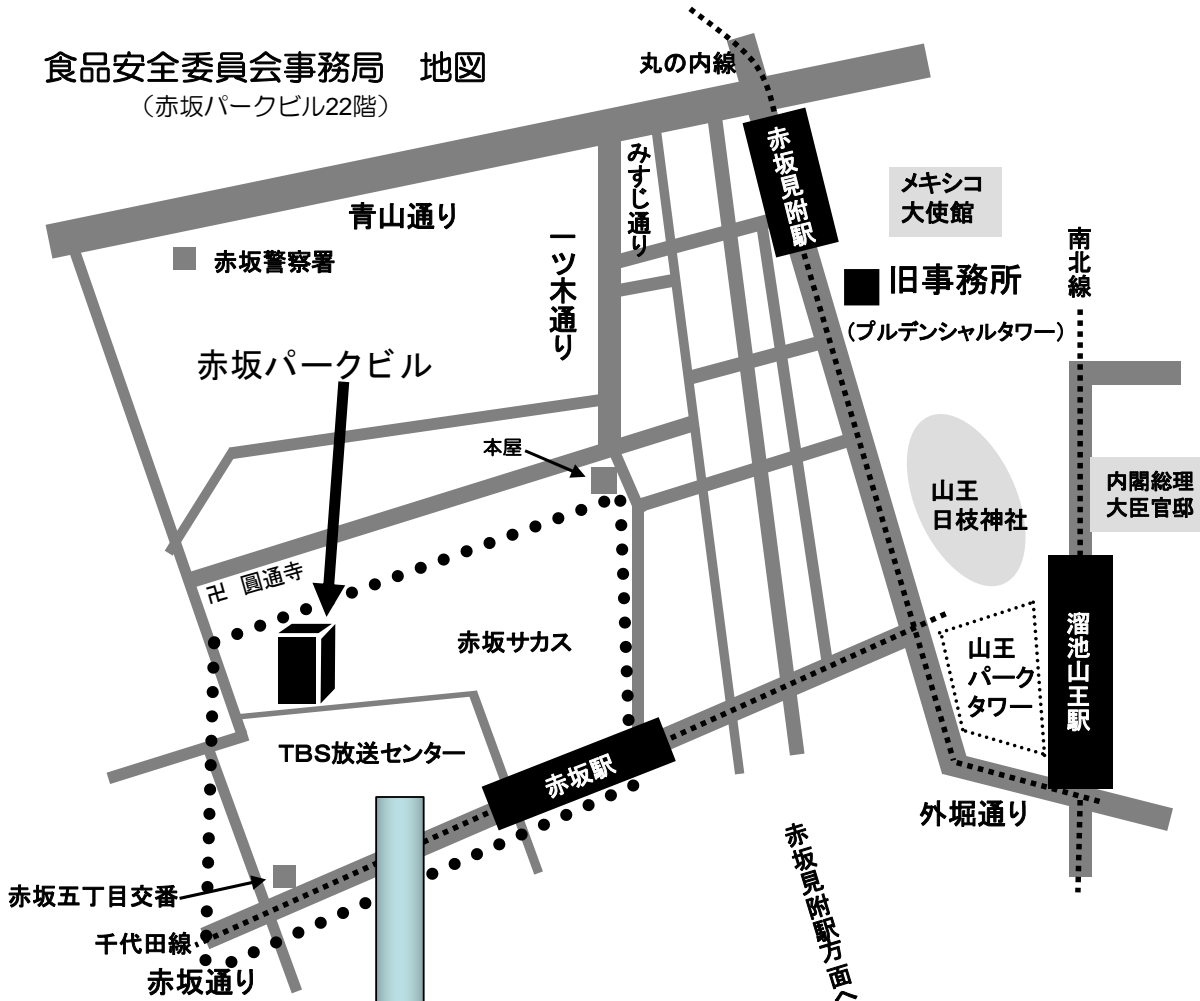
FAX送信先： 03-3545-3610

食品安全委員会セミナー事務局

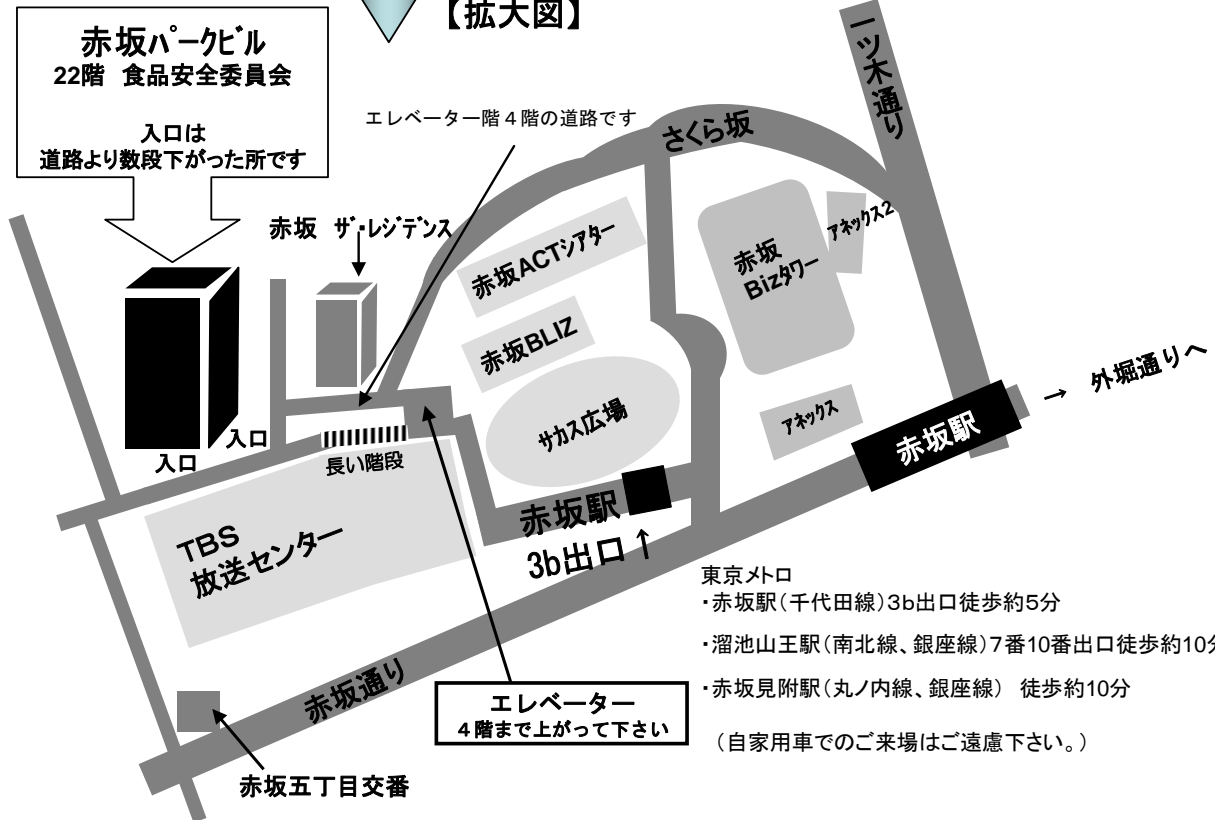
(業務管理委託先：株式会社プロセスユニーク 責任者：野々山)

食品安全委員会事務局 地図

(赤坂パークビル22階)



【拡大図】



- 東京メトロ
- ・赤坂駅(千代田線)3b出口徒歩約5分
 - ・溜池山王駅(南北線、銀座線)7番10番出口徒歩約10分
 - ・赤坂見附駅(丸の内線、銀座線) 徒歩約10分
- (自家用車でのご来場はご遠慮下さい。)

講演者プロフィール

ジュド・ポアリエ博士 (Dr. Judes Poirier)

マギル大学 教授 (医学及び精神医学)
ダグラス研究所 アルツハイマー病予防研究センター副所長
ダグラス研究所 分子神経生物学ユニット ユニット長

アルツハイマー病およびパーキンソン病の科学的研究の進展に、基本部分で貢献している。正常および損傷した脳、およびアルツハイマー病の遺伝学におけるアポリポ蛋白Eの役割に関する研究は、国際的に知られている。また、Alzheimer Group USA (米国政府の諮問組織) やカナダ政府と米国環境保護庁 (EPA) 共通の諮問機関であるHealth Protection Branchなど多数の科学諮問委員会のメンバーを務める。近年は、2010年度のGenesis Prize賞など、権威ある国際的な科学賞を受賞している。

ダイアン・ベンフォード博士 (Dr. Diane Benford)

英国食品基準庁 化学物質リスク評価部 部長

化学物質リスク評価部は、食品中のあらゆる化学物質が引き起こし得る有害な健康影響に対して責任を負っているが、その中の汚染物質、食品添加物および自然毒を主に担当している。当部の助言は科学的リスク評価に基づいており、消費者に対する食品基準庁の政策と彼らへの助言が根拠になっている。また、食品基準庁の「食品、消費者向け製品および環境中の化学物質の毒性委員会」の科学事務官でもある。私的な立場としては、2005年から、欧州食品安全機関 (EFSA) のフードチェーンにおける汚染物質に関する科学パネル (CONTAM) のメンバーを務めており、最近、このパネルの委員長に選出された。2001年以来、FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議 (JECFA) に参加している。2006年と2011年にはJECFAでの、また2008年にはEFSAでのアルミニウムの評価に携わっている。

江馬 眞 (Dr. Makoto Ema)

食品安全委員会 添加物専門調査会専門委員、肥料・飼料専門調査会専門委員
独立行政法人産業技術総合研究所安全科学研究部門 招聘研究員

獣医師、農学博士。国立医薬品食品衛生研究所勤務当時から化学物質の安全性評価に携わってきた。主にフタル酸エステル、有機スズ化合物を用いて生殖発生毒性について研究を行ってきた。化学物質の新生児投与実験に関する論文では米国毒性学会リスク評価部会2007年最優秀論文賞を受賞し、また、出生前にサリドマイドを投与したサル胚の遺伝子解析の知見に関する論文ではReproductive Toxicology誌2010年最優秀論文賞を受賞した。食品安全委員会発足時から農薬専門調査会、添加物専門調査会及び動物薬専門調査会において専門家として安全性評価に協力してきた。

入野 康宏 (Dr. Yasuhiro Irino)

神戸大学大学院医学研究科 質量分析総合センター 助教

生命科学博士。博士号を修得後、国立精神・神経センター神経研究所の研究者を経て、神戸大学大学院医学研究科の助教となる。脂質の研究に従事してきたが、2011年から質量分析計を用いた研究を開始した。現在は、生体内に含まれる代謝物を網羅的に分析することで、疾患の原因物質の発見や新規治療法の開発を目指す研究に携わっている。

<コーディネーター> 広瀬 明彦 (Dr. Akihiko Hirose)

食品安全委員会 化学物質・汚染物質専門調査会専門委員、器具・容器包装専門調査会専門委員

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 総合評価研究室長

医学博士。産業用化学物質や飲料水/食品等の汚染化学物質の有害性及びリスク評価を専門としている。主要業務としては、化審法における化学物質審査における化学物質安全対策部会化学物質調査会の専門委員とOECD化学物質共同評価プログラムにおけるCoCAM会議の日本政府専門家として活動している。食品安全委員会においては化学物質・汚染物質専門調査会汚染物質部会専門委員と容器包装専門調査会の専門委員、厚生労働省では水質基準逐次改正検討会と食品衛生分科会器具・容器包装部会の委員も勤めている。現在の主要な研究テーマは、化学物質リスク評価における構造活性相関手法の開発、およびナノマテリアルの健康影響評価手法の開発、リスクアセスメントにおける用量反応評価手法の開発などである。